



# 自衛隊栃木地方協力本部

## 自衛隊を見に行こう！高等工科学校軽易な見学会に参加！ ～来年の受験に向けて～



記念撮影

大田原地域事務所は、「今後も、引き続き多くの学校との連携及び信頼関係を強化し、「地域密着型」の広報で邁進していく」としている。

この日は、軽易な見学会として関東地方を中心に日本全国から受験希望者やその保護者が集まり、高等工科学校の魅力を体験した。  
概要説明後、現役の和太鼓部の学生の迫力ある演奏が始まると、一糸乱れぬ学生たちの力強い演奏に、参加者の拍手が演奏終了後もしばらく止むことが無いほど盛り上がりを見せていた。この日は土曜日で、ほとんどの部活動が活動しており、柔道部や空手道部、なかなか見られる機会のないドリル部の練習風景など多種多様な練習風景を目にすることができた。参加者の一人は「どの部活に入ろうか迷う」と語っていた。

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 高井一陸尉）は、2月8日（土）、県内在住の中学2年生の生徒と保護者2名を引率し、高等工科学校の募集施策の一貫として実施された軽易な学校見学会に参加した。  
見学会の目的は、受験希望者等に模擬の授業、クラブ活動、学校施設等を見学してもらい、その魅力を周知し、受験意欲の高揚を図ること及び現役生徒が直接参加者を案内し、生徒の生の声を聴くことや成長している姿を見てもらうことである。



説明会の様子



和太鼓部演奏



部活動見学



止血法体験の様子



心肺蘇生法教育の様子



心肺蘇生法体験の様子

## 那須塩原市立日新中学「防災教育」支援を実施 ～人命救助教育～

大田原地域事務所は、「今後も、引き続き多くの学校との連携及び信頼関係を強化し、「地域密着型」の広報で邁進していく」としている。

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 高井一陸尉）は、2月17日（月）、那須塩原市立日新中学において、学校が主催する防災教育を支援した。「人命救助」というテーマに沿って、身近なものを用いた止血法及び固定法の要領の習得や、訓練用のAEDと人形を用いた心肺蘇生法の教育を男女別で実施した。  
本教育は、防災に対する意識を高めることで、いざというときに自分自身や仲間を守ることができるとの知識、技能を習得することを目的としている。教育が始まると、学生たちは、心肺蘇生及び止血法、固定法のプースにて担当の自衛官から説明を受けながら、積極的に課題を受けていた。心肺蘇生では、並べられた4体の訓練用人形にグループを作りながら「AEDもってきて！」「119番に連絡をして緊急車呼んで！」といった実際の場面を想定した実習を行い、疑問を感じた場合はすぐに近くの自衛官に質問するなど集中して取り組んでいた。  
止血法、固定法のグループでは、包帯の巻き方といった基本的事項をはじめ、身の回りのものを用いた応用的な講座を行った。ごみ袋を使った骨折の処置方法を展示すると生徒たちから拍手と歓声があがった。実習の時間になるとヘアを組んでタオルを使い互いの腕を止血しながら「脈止まった？」「止まってるよ！」「すごいこれで止まるんだね！」と止血法の効果に感銘を受けていた。



教育前挨拶の様子